

経済的困難層の食生活実態把握

研究分担者 堀川 千嘉 (新潟県立大学人間生活学部健康栄養学科)

研究要旨

目的：生活保護利用世帯の食生活の実態を、食料の支出面から把握すること。

方法：2017年度から2021年度に厚生労働省が実施した「社会保障生計調査」において、調査対象年度の全月で家計記録を実施し、1か月分に平均化した実収入総額が最低生活費を超えた3,962世帯を解析対象とした。各年度について、1か月分に平均化した実収入総額における食料の支出額の割合を算出した。

結果：生活保護利用世帯の実収入総額における食料の合計支出額の割合は、5年間で有意な変化は認められなかった。内訳別では、穀類・調理食品・外食の割合の有意な減少と、菓子類と酒類の割合の有意な増加がみられた。世帯類型別では、全ての世帯類型で菓子類の割合の有意な増加が確認されたが、世帯類型別に傾向が異なる点も見られた。

結論：「社会保障生計調査」における最低生活費が保障されている生活保護利用世帯では、食料の支出割合が一定に維持されていた。食料の内訳は、各世帯類型で共通点と異なる点が見られた。

A. 研究目的

世帯の経済格差が栄養格差を含む健康格差につながることは多くの研究で示されている¹⁻⁷⁾。日本では世帯所得格差は拡大しており、相対的貧困率は、2021年時点で経済協力開発機構国38か国のうち6番目に高い15.4%と報告されている⁸⁾。「健康日本21(第三次)」では、国民の健康の増進の推進に関する基本的な方向の1点目に、健康寿命の延伸と健康格差の縮小が設定され⁹⁾、「自然に健康になれる持続可能な食環境づくりの推進に向けた検討会」報告書¹⁰⁾においても、栄養格差の縮小への取組が重視されている。

日本では、生活に困窮する世帯へ必要な

保護を行い、健康で文化的な最低限度の生活の保障とともに、自立を助長することを目的とした生活保護制度¹¹⁾が存在する。生活保護利用者数は、2022年4月現在で約204万人であり¹²⁾、生活保護利用世帯の生活扶助額は、国民の所得・物価等の社会情勢に応じて改定されており、2023年10月にも生活扶助基準額の見直しが行われた¹³⁾。

以上を鑑みると、生活保護制度が当該制度利用世帯の健康で文化的な最低限度の生活の保障に寄与しているか、食生活の観点から検討する必要がある。くわえて、生活保護利用世帯は、世帯類型によって健康や生活習慣等の実態が異なることから^{14,15)}、高齢者世帯、母子世帯、傷病者世帯、障害者世

帯, といった, 世帯類型別の検討が重要となる。よって本研究では, 2017 年度から 2021 年度における「社会保障生計調査」²⁸⁾のデータのもと, 生活保護利用世帯の食生活の実態を把握することを目的とした。

B. 方法

本研究では, に厚生労働省が実施した「社会保障生計調査」¹⁶⁾における, 2017 年度から 2021 年度データを用いた。調査対象世帯は, 本調査の調査計画に基づき¹⁶⁾, 各年度約 1,100 世帯が抽出された。抽出された世帯からは, 当該世帯を担当する福祉事務所の調査員が, 調査対象となった年度の 1 年間の世帯の家計簿等の状況を各月毎に収集した。2017 年度から 2021 年度のうち, 合計 5,706 世帯が対象となり, このうち 12 ヶ月間すべて家計簿による家計記録が実施された世帯は 4,011 世帯であった。さらに, 実収入以外の収入等により 1 か月あたりの平均実収入総額が最低生活費¹⁷⁾未満でない世帯および世帯の状況で申告された年齢と世帯類型が一致しない世帯を除外したうえで, 3,961 世帯を解析対象とした。本研究データは, 厚生労働省 社会・援護局 保護課から 2 次利用申請のうえ提供を受けたものであり, 個人情報除外され, 個人情報と連結不可能な状態である。本研究は新潟県立大学倫理委員会の承認を得た (受付番号: 2304)。

調査項目は, 次の 2 点とした。

1) 世帯の状況: 本研究では, 2017 年度から 2021 年度における各年度 4 月時点の情報を使用した。一連の情報は, 当該世帯を担当する福祉事務所が記入した。使用した項目は, 級地, 住居の種類, 世帯人員, 就労人員, 18 歳未満のいる世帯, 65 歳以上のいる世帯,

生活保護制度上の世帯類型 (高齢者世帯, 母子世帯, 障害者世帯, 傷病者世帯, 上記に該当しない世帯) とした。

2) 家計簿: 世帯の収入は, 実収入総額を用いた。世帯の支出は, 食料総額を用い, 食料総額の内訳の分類である, 穀類, 魚介類, 肉類, 乳卵類, 野菜・海藻, 果物, 油脂・調味料, 菓子類, 調理食品, 飲料, 酒類, 外食, 学校給食, についても使用した。

統計解析は, 2) に示した各年度の 12 か月分の金額を, 1 か月分に平均化したものを用いた。さらに, 各年度について実収入総額における食料の支出額の割合を算出した。算出は, 対象世帯の合計および, 対象世帯の世帯類型別 (高齢者世帯, 母子世帯, 障害者世帯, 傷病者世帯, 上記に該当しない世帯) に実施した。各年度の割合の差は, 年度を説明変数, 実収入総額における食料の支出額の割合を目的変数として, 単回帰分析を用いて回帰係数 β およびその p 値を算出し, 有意水準は 5% (両側検定) とした。解析ソフトは, IBM SPSS Statistics 27 (日本アイ・ビー・エム株式会社) を使用した。

C. 結果

1. 対象世帯の属性

解析対象世帯の属性を, 表 1 に示した。2017 年度から 2021 年度を合計した対象全世帯において, 居住地の級地は 1 級地:43.2%, 2 級地:33.2%, 3 級地:23.7%であり, 住居の種類は, 全世帯のうち 6.0%が持ち家であった。世帯人員は, 9 割以上の世帯が 2 名以下であった。就労人員は, 0 名が最も多く (57.5%), 次に 1 名 (39.9%) が多かった。18 歳未満のいる世帯は 14.1%であり, 18 歳未満のいる世帯のうち 83.5%が母子世帯であった。65 歳以上のいる世帯は

57.4%であり、対象世帯の半数以上の世帯に高齢者が存在していた。

2. 対象世帯の実収入総額と食料支出額

対象世帯の2017年度から2021年度を平均した実収入総額は、対象全世帯：157,774.2円、高齢者世帯：137,024.6円、母子世帯：239,136.5円、障害者世帯：158,215.4円、傷病者世帯：144,007.6円、その他の世帯：162,242.9円であった。調査対象全世帯において、5年間の経年変化として実収入総額に有意差は認められなかった。世帯類型別の検討では、高齢者世帯と母子世帯では5年間で有意に増加したが、 β はそれぞれ、2,346.8 ($p<0.001$)と4255.0 ($p=0.039$)程度であった。障害者世帯、傷病者世帯、その他の世帯では有意差は認められなかった。

食料の支出総額は、5年間の平均値は対象全世帯：42,858.5円、高齢者世帯：40,064.9円、母子世帯：54,390.7円、障害者世帯：41,914.9円、傷病者世帯：38,131.5円、その他の世帯：44,927.0円であり、調査対象全世帯において、5年間における有意差は認められなかった。世帯類方に分けた場合も、各世帯類型において5年間における支出の有意差は認められなかった。

3. 対象世帯の実収入総額における食料の支出額の割合

対象世帯の実収入総額における食料の支出額の割合(%)について、対象全世帯について表2に、世帯類型別について表3-7に示す(表3：高齢者世帯、表4：母子世帯、表5：障がい者世帯、表6：傷病者世帯、表7：その他の世帯)。

実収入に占める食料の割合(%)は、5年間における有意差は認められず、世帯類型

別に見た場合も、高齢者世帯を除き5年間における有意差は認められなかった。

食料の内訳別に実収入中の割合をみると、対象全世帯においては、5年間における穀類、調理食品、外食の割合の有意な減少と、菓子類と酒類の割合の有意な増加がみられた。その他の食料では有意差は見られなかった。世帯類型別に検討した場合、高齢者世帯では、穀類、野菜・海藻、外食が有意に低下し、菓子類が有意に増加した。母子世帯では、外食が有意に低下し、果物と菓子類が有意に増加した。障害者世帯、傷病者世帯、その他の世帯では、穀類が有意に低下し、菓子類が有意に増加した。その他の項目では有意差は見られなかった。

D. 考察

本研究では、生活保護利用世帯の食事状況について食費面から把握すべく、「社会保障生計調査」のデータ分析を行った。結果、2017年度から2021年度における5年間において、調査対象となった生活保護利用世帯では、生活保護利用世帯の実収入総額における食料の合計支出額の割合は、5年間で有意な変化は認められなかった。これは、実収入が維持されたことにより、食料の支出額は一定の金額を維持することが可能であったことが推察される。

2021年の家計調査年報のうち世帯年収200万円以下の世帯における食料支出額は、単身世帯：31,702円、2名以上世帯：50,821円¹⁸⁾であった。本研究の対象世帯の9割は世帯人員数が2名以下であり、母子世帯のみ主な世帯人員数が2-3名であることを考慮すると、本研究の結果と家計調査年報を比較した場合、生活保護利用世帯における食料の支出額は、家計調査年報の世帯年収

200万円以下の世帯と平均値としては近いと考えられる。

総支出額に対する食料の支出割合は、対象全世帯で検討した場合、有意差がみられないが、内訳別にみると、穀類・調理食品・外食の割合の有意な減少と、菓子類と酒類の割合の有意な増加がみられた。2018年から2021年までの家計調査をまとめた研究によれば¹⁸⁾、世帯年収200万円以下の単身世帯は、4年間の総額の支出は増加し、外食の支出割合が減少し、菓子類、調理食品、酒類の支出割合が増加していた。二人以上世帯では、4年間の総額の支出は増加し、外食の支出割合が減少し、肉類、乳卵類、調理食品、酒類の支出割合が増加していた。

両世帯の支出割合に差異が生じる理由としては、家計調査の対象世帯と生活保護利用世帯では、平均有業人員・世帯主の平均年齢・疾病や障がいの状況など、その生活状況が異なることが推察される¹⁹⁾。このことから、生活保護利用世帯に焦点を当てて食事の特徴や課題を把握することの重要性がうかがえる。

また、生活保護利用世帯を世帯類型ごとに検討した場合、いずれの世帯類型でも5年間で菓子類の割合の有意な増加が確認された。一方で、世帯類型別に異なる点も見られ、有意差が見られた点のみ述べると、高齢者世帯では、5年間で穀類、野菜・海藻、外食が有意に低下し、母子世帯では、外食が有意に低下した一方、果物が有意に増加していた。障害者世帯、傷病者世帯、その他の世帯では、穀類が有意に低下していた。限られた支出額の中で、食品選択を可能とするための支援を、世帯類型による特徴^{14,15)}を適宜鑑みながら行うことが、今後重要といえる。

本研究の限界は以下に挙げる。1点目に、

本研究で対象とした「社会保障生計調査」の回答世帯は、生活保護利用世帯の全数調査である「被保護者調査」²⁰⁾と比較して、調査年度ごとに回答地域、世帯、住居状況に偏りがあることに留意する必要がある。2点目に、日本の消費者物価指数の平均値は、2020年を100とした場合102.3、食料に限ると104.5と上昇し、品目別では、魚介類は112.1、野菜・海藻は102.3と、品目ごとに差がみられる²¹⁾ことから、年度間の物価の差異の存在に留意する必要がある。

E. 結論

本研究は、2017年度から2021年度の「社会保障生計調査」のデータ分析により、日本の生活保護利用世帯の食生活について食費面から実態把握を行った。結果、生活保護利用世帯の実収入総額における食料の合計支出額の割合は、5年間で有意な変化は認められず、生活保護利用世帯の食料の支出額が一定に維持されたことが推察された。一方で、内訳別にみると、穀類・調理食品・外食の割合の有意な減少と、菓子類と酒類の割合の有意な増加がみられた。世帯類型別では、全ての世帯類型で菓子類の割合の有意な増加が確認されたが、世帯類型別に傾向が異なる点も見られた。このことから、限られた支出額の中で、食品選択を可能とするための支援を、世帯類型別のアプローチも含め検討する必要性が示唆された。

参考文献

1. Mackenbach, J.P., Stirbu, I., Roskam, A.J., et al.: Socioeconomic inequalities in health in 22 European countries, *N. Engl. J. Med.*, 358, 2468-2481 (2008)
2. Murayama, N., Ishida, H., Yamamoto,

- T., et al.: Household income is associated with food and nutrient intake in Japanese schoolchildren, especially on days without school lunch, *Public Health Nutr.*, 20, 2946-2958 (2017)
3. Horikawa, C., Murayama, N., Ishida, H., et al.: Nutrient adequacy of Japanese schoolchildren on days with and without a school lunch by household income. *Food Nutr. Res.*, 11, 64, doi: 10.29219/fnr.v64.5377 (2020)
 4. Nishi, N., Horikawa, C., Murayama, N. Characteristics of food group intake by household income in the National Health and Nutrition Survey, Japan, *Asia Pac. J. Clin. Nutr.*, 26, 156-159 (2017)
 5. 林芙美, 武見ゆかり, 村山 伸子: 成人における経済的要因と食に関する認知的要因, 食行動, および食のQOLとの関連, *栄養学雑誌*, 73, 51-61 (2015)
 6. 坂本達昭, 野末みほ, 岡部哲子, 他: 世帯収入と新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言期間における幼児の食事内容の変化との関連, *日本健康教育学会誌*, 30, 14-25
 7. Horikawa, C., Murayama, N., Kojima, Y., et al.: Changes in Selected Food Groups Consumption and Quality of Meals in Japanese School Children during the COVID-19 Pandemic, *Nutrients*, 13, 2743, doi: 10.3390/nu13082743 (2021)
 8. 厚生労働省: 2022 (令和4) 年 国民生活基礎調査の概況, <https://www.mhlw.go.jp/toukei/saiki/n/hw/k-tyosa/k-tyosa22/dl/14.pdf>
 9. 厚生労働省: 健康日本 21 (第三次), 国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針, 国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針の全部を改正する件, <https://www.mhlw.go.jp/content/001102474.pdf>
 10. 厚生労働省: 自然に健康になれる持続可能な食環境づくりの推進に向けた検討会 報告書 自然に健康になれる持続可能な食環境づくりの推進に向けた検討会 報告書 全文, <https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000836820.pdf>
 11. 厚生労働省: 生活保護制度, https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/seikatsuhogo/seikatuhogo/index.html
 12. 厚生労働省: 社会保障審議会生活困窮者自立支援及び生活保護部会 (第14回) 生活保護制度の現状について, <https://www.mhlw.go.jp/content/12002000/000977977.pdf>
 13. 厚生労働省: 令和4年度 社会・援護局関係主管課長会議資料(資料2)保護課、保護事業室, <https://www.mhlw.go.jp/content/12201000/001225210.pdf>
 14. Nishioka, D., Saito, J., Ueno, K., et al.: Single-parenthood and health conditions among children receiving public assistance in Japan: a cohort study, *BMC Pediatr.*, 21, 214, doi: 10.1186/s12887-021-02682-4 (2021)
 15. Nishioka, D., Takaku, R., Kondo, N.: Medical expenditure after marginal cut of cash benefit among public

- assistance recipients in Japan: natural experimental evidence, J. Epidemiol. Community Health, 76, 505-511 (2021)
16. 厚生労働省：社会保障生計調査 調査計画 , <https://www.e-stat.go.jp/surveyplan/p00450311001/download/sp001/latest>
17. 厚生労働省：生活保護制度 生活扶助基準 額 に つ い て , <https://www.mhlw.go.jp/content/001152601.pdf>
18. 高野真梨子, 武見ゆかり, 林芙美：新型コロナウイルス感染拡大における世帯人数, 世帯収入別食料支出の変化：家計調査の分析から, 栄養学雑誌, 81, 269-278 (2023)
19. 総務省統計局：e-Stat 政府統計の総合窓口 家計調査 家計収支編 総世帯 詳細結果表 2021 年 1 世帯当たり 1 か月間の収入と支出 第 1 表 , <https://www.e-stat.go.jp/stat-search/file-download?statInfId=000032195880&fileKind=0>
20. 厚生労働省：被保護者調査（令和 3 年度確定値）1. 結果の概要、統計表 報道発表資料 , <https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/hihogoya/m2022/dl/r03houdou.pdf>
21. 総務省統計局：e-Stat 政府統計の総合窓口 2020 年基準消費者物価指 全国中分類指数(1970 年～最新年) 第 1 表, <https://www.e-stat.go.jp/stat-search/file-download?statInfId=000032103936&fileKind=1>

F. 健康危機情報

特になし

G. 研究発表

1. 論文発表

特になし

2. 学会発表

特になし

H. 知的財産権の出願・登録状況

特になし

表 1. 対象世帯の属性

		H29～R3 年度 合計		H29 年度		H30 年度		H31(R1)年度		R2 年度		R3 年度	
		N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)
対象世帯合計		3961		846		796		741		756		824	
級地	1 級地-1, 2	1710	(43.2%)	332	(39.2%)	321	(40.3%)	368	(49.7%)	376	(49.7%)	313	(38.0%)
	2 級地-1, 2	1314	(33.2%)	271	(32.0%)	262	(32.9%)	232	(31.3%)	241	(31.9%)	308	(37.4%)
	3 級地-1, 2	937	(23.7%)	243	(28.7%)	213	(26.8%)	141	(19.0%)	137	(18.1%)	203	(24.6%)
住居の種類	持ち家	239	(6.0%)	53	(6.3%)	43	(5.4%)	39	(5.3%)	47	(6.2%)	57	(6.9%)
	公営住宅	882	(22.3%)	205	(24.2%)	163	(20.5%)	155	(20.9%)	174	(23.0%)	185	(22.5%)
	その他	2840	(71.7%)	588	(69.5%)	590	(74.1%)	547	(73.8%)	533	(70.5%)	582	(70.6%)
世帯人員	1 名	1887	(47.6%)	387	(45.7%)	408	(51.3%)	349	(47.1%)	360	(47.6%)	383	(46.5%)
	2 名	1697	(42.8%)	357	(42.2%)	308	(38.7%)	323	(43.6%)	338	(44.7%)	371	(45.0%)
	3 名以上	377	(9.5%)	102	(12.1%)	80	(10.1%)	69	(9.3%)	58	(7.7%)	70	(8.5%)
就労人員	0 名	2279	(57.5%)	422	(49.9%)	442	(55.5%)	428	(57.8%)	459	(60.7%)	528	(64.1%)
	1 名	1582	(39.9%)	401	(47.4%)	337	(42.3%)	294	(39.7%)	272	(36.0%)	278	(33.7%)
	2 名以上	100	(2.5%)	23	(2.7%)	17	(2.1%)	19	(2.6%)	25	(3.3%)	18	(2.2%)
18 歳未満のいる世帯		557	(14.1%)	139	(16.4%)	109	(13.7%)	107	(14.4%)	91	(12.0%)	111	(13.5%)
高齢者のいる世帯		2273	(57.4%)	454	(53.7%)	437	(54.9%)	428	(57.8%)	458	(60.6%)	496	(60.2%)
世帯類型	高齢者世帯	1730	(43.7%)	329	(38.9%)	317	(39.8%)	340	(45.9%)	367	(48.5%)	377	(45.8%)
	母子世帯	465	(11.7%)	119	(14.1%)	92	(11.6%)	88	(11.9%)	68	(9.0%)	98	(11.9%)
	障がい者世帯	344	(8.7%)	76	(9.0%)	78	(9.8%)	67	(9.0%)	54	(7.1%)	69	(8.4%)
	傷病者世帯	463	(11.7%)	119	(14.1%)	102	(12.8%)	77	(10.4%)	76	(10.1%)	89	(10.8%)
	上記に該当しない世帯	959	(24.2%)	203	(24.0%)	207	(26.0%)	169	(22.8%)	189	(25.0%)	191	(23.2%)

表 2. 対象世帯合計の食料にかかる支出の実収入中の割合 (%)

	H29~R3 年度		H29 年度		H30 年度		H31(R1) 年度		R2 年度		R3 年度		p for	
	合計												β	trend
	mean	± SD	mean	± SD	mean	± SD	mean	± SD	mean	± SD	mean	± SD		
	N = 3961		N = 846		N = 796		N = 741		N = 756		N = 824			
実支出総額/実収入総額	88.42	± 16.71	89.52	± 14.85	89.64	± 15.61	88.64	± 17.64	87.07	± 17.96	87.14	± 17.34	-0.72	<0.001
食料総額/実収入総額	28.25	± 10.37	28.17	± 10.03	29.12	± 10.57	28.27	± 10.27	27.85	± 10.15	27.86	± 10.77	-0.18	0.111
穀類/実収入総額	2.24	± 1.36	2.39	± 1.35	2.43	± 1.39	2.33	± 1.35	2.06	± 1.32	1.99	± 1.35	-0.12	<0.001
魚介類/実収入総額	1.77	± 1.60	1.71	± 1.55	1.76	± 1.61	1.80	± 1.59	1.85	± 1.64	1.76	± 1.63	0.02	0.295
肉類/実収入総額	1.94	± 1.57	1.91	± 1.49	1.90	± 1.52	1.91	± 1.47	2.02	± 1.52	1.95	± 1.83	0.02	0.261
乳卵類/実収入総額	1.33	± 1.12	1.30	± 1.13	1.41	± 1.23	1.29	± 1.06	1.25	± 0.95	1.37	± 1.17	0.00	0.877
野菜・海藻/実収入総額	3.00	± 2.14	2.98	± 2.12	3.13	± 2.22	2.98	± 2.12	3.00	± 2.12	2.94	± 2.13	-0.02	0.410
果物/実収入総額	1.14	± 1.12	1.08	± 1.07	1.14	± 1.16	1.09	± 1.04	1.19	± 1.12	1.18	± 1.18	0.02	0.053
油脂・調味料/実収入総額	1.28	± 0.84	1.24	± 0.83	1.26	± 0.86	1.30	± 0.88	1.29	± 0.81	1.30	± 0.83	0.01	0.115
菓子類/実収入総額	2.87	± 1.92	2.61	± 1.69	2.80	± 1.93	2.86	± 1.83	2.99	± 2.02	3.10	± 2.08	0.12	<0.001
調理食品/実収入総額	7.76	± 4.79	7.86	± 4.72	8.17	± 5.00	7.59	± 4.83	7.55	± 4.59	7.60	± 4.78	-0.11	0.036
飲料/実収入総額	2.42	± 1.82	2.42	± 1.78	2.45	± 1.88	2.44	± 1.79	2.33	± 1.70	2.44	± 1.93	-0.01	0.749
酒類/実収入総額	0.89	± 2.01	0.78	± 1.62	0.83	± 1.88	0.95	± 2.14	0.95	± 2.31	0.96	± 2.08	0.05	0.036
外食/実収入総額	1.54	± 2.67	1.80	± 2.84	1.77	± 2.75	1.62	± 2.73	1.30	± 2.59	1.21	± 2.36	-0.17	<0.001
学校給食/実収入総額	0.07	± 0.40	0.08	± 0.41	0.06	± 0.38	0.11	± 0.52	0.05	± 0.33	0.07	± 0.35	0.00	0.455

線形回帰分析を行った。

表 3. 高齢者世帯の食料にかかる支出の実収入中の割合 (%)

	H29~R3 年度		H29		H30		H31(R1)		R2		R3		p for	
	合計												β trend	
	mean	± SD	mean	± SD	mean	± SD	mean	± SD	mean	± SD	mean	± SD		
	N = 1730		N = 329		N = 317		N = 340		N = 367		N = 377			
実支出総額/実収入総額	88.95	± 15.73	91.38	± 14.75	90.72	± 14.50	88.34	± 15.57	87.23	± 16.86	87.57	± 16.21	-1.10	<0.001
食料総額/実収入総額	29.84	± 10.14	30.80	± 9.87	31.14	± 10.11	29.38	± 9.63	28.89	± 9.94	29.22	± 10.87	-0.53	0.002
穀類/実収入総額	2.26	± 1.31	2.42	± 1.32	2.48	± 1.31	2.33	± 1.18	2.14	± 1.27	2.00	± 1.37	-0.12	<0.001
魚介類/実収入総額	2.37	± 1.76	2.38	± 1.75	2.36	± 1.69	2.37	± 1.69	2.45	± 1.81	2.29	± 1.83	-0.01	0.792
肉類/実収入総額	1.91	± 1.58	1.89	± 1.39	1.83	± 1.47	1.89	± 1.29	1.97	± 1.36	1.96	± 2.15	0.03	0.308
乳卵類/実収入総額	1.52	± 1.24	1.55	± 1.34	1.64	± 1.38	1.47	± 1.18	1.35	± 0.94	1.61	± 1.34	-0.01	0.476
野菜・海藻/実収入総額	3.72	± 2.29	3.88	± 2.20	3.82	± 2.40	3.74	± 2.29	3.62	± 2.16	3.57	± 2.38	-0.08	0.032
果物/実収入総額	1.59	± 1.27	1.62	± 1.24	1.70	± 1.37	1.50	± 1.15	1.54	± 1.20	1.59	± 1.37	-0.02	0.335
油脂・調味料/実収入総額	1.46	± 0.91	1.48	± 0.94	1.43	± 0.99	1.47	± 0.85	1.44	± 0.86	1.47	± 0.91	0.00	0.907
菓子類/実収入総額	2.76	± 1.80	2.65	± 1.68	2.69	± 1.94	2.69	± 1.81	2.73	± 1.69	2.98	± 1.85	0.07	0.018
調理食品/実収入総額	7.75	± 4.77	8.04	± 4.79	8.22	± 5.02	7.44	± 4.37	7.59	± 4.85	7.57	± 4.76	-0.15	0.056
飲料/実収入総額	2.07	± 1.57	2.10	± 1.50	2.12	± 1.62	2.03	± 1.48	1.96	± 1.35	2.16	± 1.86	0.00	0.952
酒類/実収入総額	1.10	± 2.13	1.04	± 2.00	1.08	± 2.17	1.08	± 2.18	1.16	± 2.27	1.11	± 2.04	0.02	0.509
外食/実収入総額	1.32	± 2.48	1.77	± 3.13	1.77	± 3.08	1.35	± 2.23	0.94	± 1.77	0.90	± 1.90	-0.26	<0.001
学校給食/実収入総額	0.00	± 0.06	0.00	± 0.00	0.00	± 0.00	0.01	± 0.13	0.00	± 0.00	0.00	± 0.00	0.00	0.953

線形回帰分析を行った。

表 4. 母子世帯の食料にかかる支出の実収入中の割合 (%)

	H29～R3 年度		H29		H30		H31(R1)		R2		R3		p for	
	合計												β	trend
	mean	± SD	mean	± SD	mean	± SD	mean	± SD	mean	± SD	mean	± SD		
	N = 465		N = 119		N = 92		N = 88		N = 68		N = 98			
実支出総額/実収入総額	84.72	± 19.87	84.52	± 15.59	84.61	± 18.63	86.11	± 20.68	85.31	± 22.42	83.39	± 23.09	-0.16	0.797
食料総額/実収入総額	23.59	± 9.52	23.31	± 8.53	23.30	± 9.13	24.99	± 10.10	23.41	± 9.95	23.07	± 10.23	-0.02	0.945
穀類/実収入総額	1.85	± 1.09	1.87	± 0.87	1.95	± 1.12	2.01	± 1.24	1.72	± 1.28	1.67	± 0.99	-0.06	0.093
魚介類/実収入総額	0.92	± 0.73	0.90	± 0.68	0.87	± 0.69	0.96	± 0.85	0.90	± 0.72	0.94	± 0.74	0.01	0.674
肉類/実収入総額	2.33	± 1.51	2.17	± 1.36	2.30	± 1.27	2.36	± 1.83	2.47	± 1.64	2.44	± 1.48	0.07	0.137
乳卵類/実収入総額	1.04	± 0.76	1.02	± 0.67	1.06	± 0.75	1.04	± 0.92	1.00	± 0.63	1.09	± 0.79	0.01	0.690
野菜・海藻/実収入総額	1.89	± 1.26	1.86	± 1.17	1.88	± 1.05	1.97	± 1.55	1.83	± 1.32	1.93	± 1.24	0.01	0.753
果物/実収入総額	0.53	± 0.49	0.47	± 0.41	0.45	± 0.42	0.49	± 0.48	0.60	± 0.51	0.65	± 0.59	0.05	0.002
油脂・調味料/実収入総額	1.01	± 0.60	0.96	± 0.54	0.98	± 0.50	1.08	± 0.69	1.02	± 0.55	1.04	± 0.70	0.02	0.274
菓子類/実収入総額	3.12	± 1.92	2.85	± 1.59	2.88	± 1.81	3.30	± 1.74	3.47	± 2.30	3.25	± 2.20	0.13	0.028
調理食品/実収入総額	6.04	± 3.90	6.19	± 3.74	6.20	± 3.53	6.15	± 4.80	5.94	± 3.62	5.68	± 3.72	-0.13	0.300
飲料/実収入総額	2.23	± 1.52	2.19	± 1.45	2.16	± 1.59	2.40	± 1.67	2.23	± 1.43	2.20	± 1.49	0.01	0.834
酒類/実収入総額	0.33	± 0.79	0.35	± 0.72	0.35	± 0.64	0.38	± 0.75	0.26	± 0.92	0.28	± 0.94	-0.02	0.403
外食/実収入総額	1.79	± 2.03	1.99	± 2.11	1.78	± 2.04	2.08	± 2.37	1.59	± 1.72	1.44	± 1.72	-0.13	0.047
学校給食/実収入総額	0.50	± 0.98	0.48	± 0.92	0.42	± 1.01	0.76	± 1.23	0.37	± 0.78	0.47	± 0.83	0.00	0.958

線形回帰分析を行った。

表 5. 障がい者世帯の食料にかかる支出の実収入中の割合 (%)

	H29～R3 年度		H29		H30		H31(R1)		R2		R3		p for	
	合計												β	trend
	mean	± SD	mean	± SD	mean	± SD	mean	± SD	mean	± SD	mean	± SD		
	N = 344		N = 76		N = 78		N = 67		N = 54		N = 69			
実支出総額/実収入総額	88.28	± 18.13	89.80	± 16.76	88.57	± 16.40	87.76	± 20.19	86.21	± 19.04	88.39	± 18.96	-0.50	0.468
食料総額/実収入総額	27.20	± 10.22	26.48	± 9.17	26.99	± 11.21	26.80	± 9.93	27.14	± 9.26	28.68	± 11.24	0.46	0.229
穀類/実収入総額	2.00	± 1.23	2.19	± 1.18	2.18	± 1.19	2.32	± 1.29	1.64	± 1.18	1.57	± 1.14	-0.17	<0.001
魚介類/実収入総額	1.16	± 1.09	1.00	± 0.85	1.15	± 1.12	1.27	± 1.01	1.06	± 0.86	1.31	± 1.46	0.06	0.155
肉類/実収入総額	1.67	± 1.43	1.53	± 1.30	1.59	± 1.43	1.71	± 1.26	1.60	± 1.57	1.92	± 1.60	0.08	0.125
乳卵類/実収入総額	1.10	± 0.85	1.00	± 0.74	1.19	± 0.91	1.06	± 0.77	1.26	± 1.15	1.02	± 0.64	0.01	0.775
野菜・海藻/実収入総額	2.22	± 1.78	2.06	± 1.62	2.44	± 1.87	2.45	± 1.92	2.07	± 1.88	2.03	± 1.62	-0.04	0.571
果物/実収入総額	0.84	± 0.94	0.69	± 0.75	0.83	± 0.83	0.78	± 0.90	0.98	± 1.15	0.94	± 1.08	0.06	0.069
油脂・調味料/実収入総額	1.02	± 0.73	0.91	± 0.65	1.02	± 0.73	1.12	± 0.65	1.02	± 0.78	1.06	± 0.83	0.03	0.246
菓子類/実収入総額	2.99	± 1.85	2.32	± 1.48	2.84	± 1.73	3.08	± 1.77	3.48	± 1.87	3.44	± 2.20	0.29	<0.001
調理食品/実収入総額	8.74	± 5.42	8.97	± 4.93	8.69	± 5.62	8.00	± 5.37	8.70	± 5.34	9.28	± 5.90	0.06	0.783
飲料/実収入総額	2.93	± 2.13	2.91	± 2.13	2.74	± 1.67	2.78	± 1.67	2.95	± 2.09	3.31	± 2.89	0.10	0.207
酒類/実収入総額	0.54	± 1.35	0.57	± 1.03	0.37	± 0.73	0.49	± 0.97	0.39	± 0.77	0.87	± 2.42	0.07	0.187
外食/実収入総額	1.98	± 2.98	2.32	± 3.01	1.96	± 2.43	1.71	± 2.55	1.96	± 3.79	1.92	± 3.22	-0.08	0.451
学校給食/実収入総額	0.01	± 0.14	0.00	± 0.03	0.00	± 0.00	0.03	± 0.24	0.03	± 0.23	0.00	± 0.00	0.00	0.679

線形回帰分析を行った。

表 6. 傷病者世帯の食料にかかる支出の実収入中の割合 (%)

	H29~R3 年度		H29		H30		H31(R1)		R2		R3		p for	
	合計												β	trend
	mean	± SD	mean	± SD	mean	± SD	mean	± SD	mean	± SD	mean	± SD		
	N = 463		N = 119		N = 102		N = 77		N = 76		N = 89			
実支出総額/実収入総額	88.99	± 15.70	88.07	± 13.64	90.74	± 12.65	89.95	± 22.30	88.97	± 15.62	87.38	± 14.69	-0.25	0.619
食料総額/実収入総額	27.44	± 11.00	26.52	± 10.89	29.24	± 11.21	27.90	± 13.31	27.67	± 10.56	26.01	± 8.77	-0.20	0.558
穀類/実収入総額	2.24	± 1.50	2.50	± 1.60	2.34	± 1.40	2.47	± 1.71	1.84	± 1.09	1.93	± 1.48	-0.16	0.001
魚介類/実収入総額	1.33	± 1.41	1.40	± 1.35	1.56	± 1.77	1.14	± 1.20	1.33	± 1.43	1.13	± 1.14	-0.08	0.083
肉類/実収入総額	1.78	± 1.68	1.89	± 1.87	1.82	± 1.57	1.77	± 1.93	1.89	± 1.57	1.48	± 1.35	-0.08	0.153
乳卵類/実収入総額	1.22	± 1.12	1.20	± 0.99	1.23	± 1.14	1.20	± 1.11	1.18	± 1.17	1.32	± 1.24	0.02	0.601
野菜・海藻/実収入総額	2.60	± 1.96	2.66	± 1.98	2.82	± 2.01	2.42	± 1.94	2.47	± 1.77	2.56	± 2.06	-0.05	0.393
果物/実収入総額	0.87	± 0.86	0.91	± 0.91	0.83	± 0.79	0.80	± 0.94	0.89	± 0.84	0.91	± 0.83	0.00	0.870
油脂・調味料/実収入総額	1.16	± 0.89	1.14	± 0.74	1.23	± 0.85	1.23	± 1.41	1.08	± 0.69	1.09	± 0.66	-0.02	0.426
菓子類/実収入総額	2.78	± 1.89	2.37	± 1.53	2.67	± 1.60	2.69	± 1.82	3.17	± 2.32	3.17	± 2.15	0.21	<0.001
調理食品/実収入総額	8.24	± 5.29	7.77	± 5.31	8.99	± 5.53	8.45	± 6.58	8.33	± 4.60	7.74	± 4.16	-0.05	0.783
飲料/実収入総額	2.78	± 2.28	2.84	± 2.45	2.97	± 2.73	2.85	± 2.16	2.59	± 2.11	2.57	± 1.63	-0.09	0.231
酒類/実収入総額	0.73	± 1.79	0.43	± 1.08	0.68	± 1.53	0.91	± 2.06	1.23	± 2.88	0.59	± 1.22	0.09	0.116
外食/実収入総額	1.69	± 2.74	1.39	± 1.89	2.09	± 3.32	1.93	± 3.42	1.65	± 2.74	1.50	± 2.25	-0.01	0.947
学校給食/実収入総額	0.03	± 0.24	0.03	± 0.20	0.01	± 0.15	0.04	± 0.37	0.03	± 0.29	0.02	± 0.22	0.00	0.897

線形回帰分析を行った。

表 7. その他の世帯の食料にかかる支出の実収入中の割合 (%)

	H29~R3 年度			H29			H30			H31(R1)			R2			R3			p for β trend	
	合計																			
	mean	±	SD																	
その他の世帯	N = 959			N = 203			N = 207			N = 169			N = 189			N = 191				
実支出総額/実収入総額	89.02	±	16.50	90.17	±	13.85	90.06	±	16.48	90.33	±	16.35	86.88	±	18.90	87.64	±	16.55	-0.82	0.027
食料総額/実収入総額	28.43	±	10.17	28.34	±	9.57	29.35	±	10.28	28.52	±	9.83	27.69	±	10.36	28.20	±	10.81	-0.20	0.394
穀類/実収入総額	2.48	±	1.50	2.66	±	1.43	2.71	±	1.60	2.45	±	1.53	2.23	±	1.50	2.32	±	1.40	-0.12	0.001
魚介類/実収入総額	1.55	±	1.45	1.55	±	1.45	1.57	±	1.51	1.59	±	1.62	1.48	±	1.28	1.58	±	1.41	0.00	0.889
肉類/実収入総額	1.97	±	1.56	1.94	±	1.50	1.97	±	1.66	1.86	±	1.39	2.15	±	1.71	1.90	±	1.51	0.01	0.795
乳卵類/実収入総額	1.25	±	1.05	1.24	±	1.10	1.40	±	1.26	1.19	±	0.89	1.18	±	0.88	1.19	±	0.99	-0.03	0.153
野菜・海藻/実収入総額	2.72	±	1.98	2.70	±	2.11	3.02	±	2.18	2.43	±	1.58	2.67	±	2.11	2.74	±	1.77	-0.03	0.511
果物/実収入総額	0.85	±	0.88	0.81	±	0.81	0.87	±	0.90	0.84	±	0.80	0.91	±	1.00	0.84	±	0.84	0.01	0.639
油脂・調味料/実収入総額	1.22	±	0.76	1.20	±	0.79	1.24	±	0.77	1.16	±	0.71	1.25	±	0.79	1.27	±	0.73	0.01	0.424
菓子類/実収入総額	2.96	±	2.14	2.65	±	1.87	2.98	±	2.19	2.97	±	1.92	3.13	±	2.32	3.11	±	2.34	0.11	0.025
調理食品/実収入総額	8.02	±	4.53	8.18	±	4.46	8.37	±	4.85	8.09	±	4.42	7.43	±	3.99	7.98	±	4.84	-0.13	0.192
飲料/実収入総額	2.77	±	1.87	2.63	±	1.67	2.74	±	1.84	2.97	±	2.10	2.78	±	1.90	2.75	±	1.85	0.03	0.463
酒類/実収入総額	1.00	±	2.40	0.92	±	1.69	0.91	±	2.13	1.17	±	2.78	0.84	±	2.70	1.20	±	2.61	0.05	0.374
外食/実収入総額	1.59	±	3.06	1.81	±	3.09	1.54	±	2.26	1.77	±	3.42	1.56	±	3.49	1.30	±	3.01	-0.10	0.154
学校給食/実収入総額	0.03	±	0.25	0.03	±	0.27	0.03	±	0.19	0.02	±	0.18	0.05	±	0.35	0.03	±	0.23	0.00	0.782

線形回帰分析を行った。